

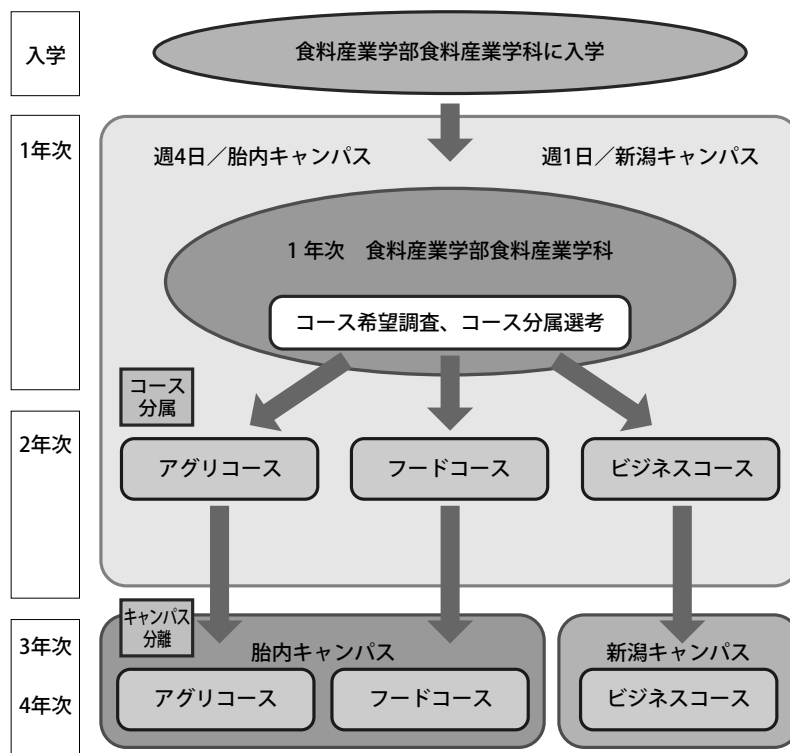
教育体系（大要）

本学部では、胎内キャンパスと新潟キャンパス2つのキャンパスそれぞれの特性・利点を活かして、実社会での体験を重視した実践的な教育を展開します。特に3年次からは、アグリコースおよびフードコースは胎内キャンパス、ビジネスコースは新潟キャンパスを学びの拠点とし、2つのキャンパスそれぞれの特性・利点を活かしながら、より専門的に学ぶことになります。この教育体系を十分理解してください。

1 年次	■コースには分かれず、全員が食・農・ビジネスの基礎理解を総合的に修得 ・週5日の授業日（月曜～金曜）のうち、4日は胎内キャンパスで、1日は新潟キャンパスで学びます。<u>時間割をよく確認し、異なるキャンパスに通学しないように気をつけてください。</u> ■学年末に「コース分属」を決定 ・希望コースの最終希望調査の回答に沿い、分属を決定します。コース希望調査の方法については、次ページを参照してください。
2 年次	■「アグリ」「フード」「ビジネス」の3コースに分かれ、コース別の学びを開始 ・各コースの専門知識を修得する「コース課程」と、1年次に引き続き食・農・ビジネスの基礎を修得する「共通課程」とを並行して学びます。 ・1年次と同様に、週5日のうち4日は胎内キャンパスで、1日は新潟キャンパスで学びます。<u>時間割をよく確認し、異なるキャンパスに通学しないように気をつけてください。</u> ■2年次末に「進級判定」を実施 ・進級要件を満たしていない学生は留年となり、3年次に進級することができません。満たすべき進級要件についてはP19を参照し、留年することがないように注意してください。 ■2年次末に「転コース試験」を実施 ・コース分属後のコース変更は原則として認めませんが、相応の理由があり、定めた条件を満たした者に限り転コース試験を行うことがあります。希望すれば必ず転コースできるというわけではありませんので、よく考えてコースを選択してください。
3 年次	■コースにより、学びの拠点となるキャンパスが分離 ・アグリコースとフードコースは胎内が、ビジネスコースは新潟が拠点キャンパスとなります。 【！注意！】「コース分属」と「キャンパス分離」のタイミングは異なりますので注意してください。 ■3年次末に「転コース試験」を実施
4 年次	■コースごとに設定された卒業要件に基づき、卒業判定を実施

履修に関する内容

食料産業学部食料産業学科教育体系図（イメージ）



■コース希望調査の方法

<時期・頻度>

1年次に4回（1～3回目は希望調査、4回目は最終希望調査）実施を予定しています。

<調査方法>

調査はすべてUNIPAを利用して行います。

<調査内容>

「第1希望コース」から「第3希望コース」までの希望順位を調査します。

<結果の公表>

希望調査の結果はUNIPAにて公表します。

<調整方法>

希望コースに偏りが生じた場合は、1年次の成績（GPA）を以って配属を決定します。

転コースについて

原則としてコースの変更は認められませんが、相応の理由があり、大学が示す条件を満たし、かつ転コース試験を受け認められた者に限り、2年次末または3年次末に転コースが認められる場合があります。なお、転コースを行った場合、卒業要件を満たすためには在学期間が4年間を超え、5年目以降の学費支払いが生じることがありますので、慎重に検討してください。